

## 2026年度 第1回定例理事会抄録

日時： 2026年4月18日（土）13：00～16：55

場所： ビジョンセンターグランデ東京浜松町 5F503（港区芝大門 1-13-9 UD 大門ビル）  
Zoom によるオンライン参加併用

出席： 山本（会長）、大庭、竹中、谷川（副会長）、小林、関本、高島（千）、高橋、辰己、  
谷口、早坂、村井（常務理事）、池田、岩上、澤田、島崎、土居、友利、丹羽、長  
谷、東、松尾、三澤（理事）、岩瀬、香山、澤（監事）

陪席： 松尾・宇田（社員）、安藤（辻・本郷税理士法人）、武藤（内部SE）、長倉、庄司、  
宮井、岡本、長井、茂呂、岩花、谷川、伊藤、山田、石沢（事務局）

### Ⅰ. 報告事項

#### 1. 職務執行状況報告

##### 1) 山本伸一会長

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・2026年度の理事の構成と担当職務一覧 変更点は、生活環境支援推進室担当に谷口常務理事と岩上理事、事務局長補佐に大庭副会長、地域保健総合推進事業担当に高橋常務理事が着任となる。
- ・2025年度他組織・団体等の協会代表委員名簿 書面報告

##### 2) 大庭潤平副会長

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・2026年度定時社員総会の議事進行について 長井総会議事運営担当より、当日の流れの報告と説明担当者の確認がなされた。
- ・2025年度会員動向について 2025年度の確定会員数は5万9,429名で、組織率は48.2%である。2026年度の期首の会員数は5万7,776名である。
- ・「作業療法とAI」に関する検討会について 2月の理事会で承認いただいた作業療法とAI検討会の準備状況の報告。設置要綱案やスケジュール等を示し、今後、適時、理事会へ報告することとする。
- ・第37回WFOT総会出席報告について 去る2月5日～7日まで、タイのバンコクでWFOT総会が開催され、各種の報告と議論がなされた。

- ・厚労科研「障害者自立支援機器開発に携わる医療・福祉・工学分野の人材育成モデル普及促進にする研究」に関する本会での取り扱いについて 本研究事業の協会代表者について、2026年度は正式に副会長付とする。
- ・「鈴木明子先生と杉原素子先生のご功績を偲び感謝する会」について 5月31日(日)に田町の建築会館で開催するため準備を進めている。

### 3) 竹中佐江子副会長

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・月別入会者数(2026年3月現在) 昨年度の入会者数は合計3,179名であった。これは予測数である2,989名からは190名多い人数だが、昨年度に比べると113名減少しており、入会率は65%である。
- ・認定作業療法士読み替え申請・登録作業療法士制度前期研修受講状況報告 認定作業療法士読み替え申請は第2回目の審査を終えた。今後も広報・啓発に努めていく。

### 4) 谷川真澄副会長

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・2025年度事業評価結果について 各部から提出された2025年度の事業評価を集約した。

### 5) 小林毅常務理事

- ・職務執行状況報告 生活環境支援推進室では年度末に生活行為工夫情報事業全体会が開催された。また、「大規模災害時支援活動基本指針」改正ワーキンググループは3月末で活動を終了する。諸規程については2月に理事会で承認を得たが、災害対策課との意見交換を踏まえ、文言の追記し、規程等の改定の日付を本日付とする。また、作業療法白書2026編集委員会のシステム作成については承認の業者で委託契約を進める。
- ・60周年記念式典・周年事業の検討状況について 準備を進めているので、企画等について理事からのご意見をいただきたい。
- ・厚生労働省が進める「介護現場における生産性向上の取組」について 昨年度までに47都道府県作業療法士会に向けて説明会の通知を3回出し、42都道府県、延べ167名が参加。2月28日開催の協会長・都道府県士会長協議会(よんぱち)会議では担当の政策調整官に説明をいただき、質疑応答を行った。今年度は47都道府県士会の担当者にオンラインによる情報共有と情報交換により、参加や取り組みについて推進す

る。

6) 関本充史常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・制作広報室 SNS 運用状況報告 書面報告
- ・よんぱちについて よんぱち会議を6月20日(土)の13時から、オンライン(Zoom)で開催する。各部局で都道府県士会とシェアしたいこと、意見交換したい情報があれば連絡いただきたい。

7) 高島千敬常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告

8) 高橋香代子常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告

9) 辰己一彦常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告

10) 谷口敬道常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告

11) 早坂友成常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・第59回日本作業療法学会収支決算について 書面報告
- ・学術誌『作業療法』第44巻(2025年)論文表彰の選定について 書面報告

12) 村井千賀常務理事

- ・職務執行状況報告 書面報告
- ・「日本作業療法士協会渉外活動方針」について 渉外活動方針を定め、活動に関する内規を作成した。各理事は、引き続きより活発な活動をお願いする。
- ・MTDLP 指導者の認定 MTDLP の指導者として3名を認定した。現在の指導者数は310名である。
- ・日本総研が経済産業省の令和8年度ヘルスケア産業基盤高度化推進事業(地域におけるヘルスケア産業推進事業)に申請し、許可をいただいた。これからオレンジイノベーション・プロジェクトについて本会に相談の申し出がある。
- ・精神科作業療法に関する研究は、国の厚生科学研究に会長を代表として申請する。
- ・WFOT の作業療法の質を捉えた評価指標(QUEST)を基に精神科作業療法の自己評

領票を作成した。すべての精神科病院からデータをいただいて全体のデータを取りまとめる仕組みができた。これらを基に厚生労働者に対しても発言していく。

## 2. 理事からの報告

- ・ 渉外活動報告 書面報告

## 3. 委員会等からの答申・提言等

- 1) 答申書「作業療法士養成教育課程の4年制化および4年制大学化の必要性について」  
書面報告
- 2) 介護報酬対策小委員会 2025年度の活動報告書（総括） 書面報告
- 3) 前年度で活動を終えた委員会等からの報告・提案・引継ぎ事項等について
  - ・メンタルヘルス等産業保健推進委員会 書面報告
  - ・認知症バリアフリー社会推進委員会 書面報告
  - ・MTDLP推進委員会 書面報告

## II. 決議事項

### 1. 2026年度定時社員総会の目的事項と議案について

- 1) 2025年度事業報告、2026年度事業計画および予算案（大庭副会長）軽微な修正は代表理事に一任いただき、本日の内容を総会時の資料とする。→承認
- 2) 第1号議案（名誉会員）および第2号議案（代議員選挙における候補者クォータ制導入）（大庭副会長）第1号、第2号議案ともに理事会で承認済みの事項であり、本日の内容を総会時の資料とする。→承認
- 3) 第3号議案 作業療法士養成における学士課程を標準とした教育の推進および多様な学びに資する教育体制の構築に関する基本方針の承認の件（竹中副会長、谷口常務理事）質の高い専門職を養成し、国際基準に適合させるとともに、将来にわたり持続可能な養成体制を確立できるよう本日の内容を総会時の資料とする。→承認
- 4) 第4号議案 2025年度決算報告書承認および監査報告の件（竹中副会長、岩瀬監事）経常収益について決算額、執行率、経常費用について事業費、管理費を報告。また、監事からは、財産管理および会計報告は法令・定款に従い適正に処理されており、特段の問題はないとし、3点の附帯意見をいただいた。→承認
- 5) 社員総会の招集通知（総会の目的事項）について（大庭副会長）決議事項の第3号議案が本日の理事会で承認されたため、提案通りの招集通知で決定とする。→承認

2. 厚生労働大臣表彰候補者の推薦について（山本会長）本会から 3 名および各士会から 31 名の厚生労働大臣表彰候補者を推薦する。→承認
3. 委員会等の委員委嘱について
  - 1) 白書委員会委員の追加委嘱（大庭副会長）作業療法白書編集委員会委員を 1 名追加委嘱する。→承認
  - 2) MTDLP 審査会の委員長の変更及び新規査読者の委嘱（村井常務理事）MTDLP 審査会の委員長が交代し、24 名の委員を追加委嘱する。→承認
4. 会員の倫理問題事案について
  - 1) 学会演題発表における虚偽記載等の事案（山本会長）倫理委員会より、2026 年 3 月 28 日付で会員に関する倫理問題事案の審査結果の上申があり、「退会」処分（謹慎期間 3 年）が妥当との提案を受けた。→承認
  - 2) 退会処分後の再入会審査（山本会長）2020 年 3 月 21 日に酒気帯び運転により自損事故を起こし、2021 年 8 月理事会で退会処分（最低 3 年間の謹慎期間）の会員から、本年 4 月 7 日付で「再入会願」が提出された。→承認
5. ワークフローシステム試験運用（継続）について（谷川副会長）2026 年 1 月より試験運用を実施したワークフローシステムについて、第 4 回理事会（10 月）まで試験運用を継続し、引き続き月単位利用契約（有償）を締結する。→承認
6. 第 62 回日本作業療法学会
  - 1) 学会長の選定について（早坂常務理事）鹿児島大学医学部保健学科教授の田平隆行氏を学会長に推薦する。→承認
  - 2) 開催地の選定について（早坂常務理事）熊本城ホール（熊本県熊本市）を開催地に選定した。→承認
7. 2040 年を見据えた新たな地域医療構想に対応する作業療法提供体制の在り方提案について（村井常務理事）昨年 12 月に議論し、1 月から 2 月の初めにパブリックコメントを行って会員から意見をいただき、タイトルと本文について加筆・修正した。→承認
8. 第 8 回チーム医療推進学会の主幹について（小林常務理事）チーム医療推進協議会から、第 8 回学会の主幹を本会でお引き受けする件。（打診）→承認

以上